

2018～2019 年度 第 3 回京都部役員会議事録

- 日 時 2018 年 9 月 7 日 (金) 19:00～21:00
- 場 所 京都 YMCA 三条本館
- 出 席 者 (敬称略、クラブ名称一部省略。丸印が出席者)
- 川上孝司部長(パレス)、○島田博司次期部長(ウエスト)、
 - 竹園憲二直前部長(ZERO)、○廣井武司監事(プリンス)、
 - 藤尾実統括連絡主事(京都 YMCA)、
 - 松崎和彦 YMCA サービス・ユース事業主査(トゥービー)、
 - ×吉岡幸次地域奉仕・環境事業主査(パレス)、
 - 山口雅也 EMC 事業主査(キャピタル)、
 - 安平知史国際・交流事業主査(ウエスト)、
 - 岡西博司メネット事業主査(プリンス)
 - 東田吉末 PR 委員会委員長(トップス)
 - 小林千春書記(パレス)、○福井正太書記(パレス)、○安達雅直会計(パレス)
 - 山本一博事務局長(パレス)、○為国光俊事務局(パレス)
- 開会・進行 福井書記
- 開会挨拶 川上部長
- 議長・議事録作成者選出 川上部長により、議長：福井書記、議事録：小林書記の選任

1 部長報告

台風、地震の犠牲者に黙祷。

部長訪問で各クラブの活動を知ることが多い。サバエ、リトセン、病院などへのサポート等。これら各クラブの活動を後方支援する部でありたい。

災害などのサポートをどうするか、悩ましい。YMCA を支援することで進めたい。

2 主査活動報告

事業主査報告書に基づき 8 月の活動について報告。特記事項は次のとおり。

CS：ワイズデーについて、各クラブにワイズデーコンサートのチケット販売依頼中。アピールブースについて、本日、部長・主査で打合せを行った。

国際交流：京都 ZERO クラブと長浜クラブが DBC 締結予定とのこと。

メネット：アワーへの登録 132 名。

PR：京都部フェイスブック上でのアピールについて。西日本区の PR を委員会でまとめる予定。PR 委員会のルール作りを検討。選任委員の任期が長いこともやや気になる。

3 議案の審議

(1) 第2回役員会議事録承認の件 【全会一致で承認】

(2) 将来構想委員会について 【継続審議】

(部長より説明)

西日本区から部へ将来構想委員会設置の要請があり、2018年5月から「斬新会」と称して竹園直前部長を中心に活動中。前期京都部において設置の決議等はなかった。竹園部長から川上部長へ「斬新会」を引き継いでほしいとの依頼があり、川上部長と竹園直前部長とが協議した。

部長としては、部役員会のコントロール下でない組織の存在は好ましいものではなく、新たに部長、次期部長、直前部長を中心に、京都部ワイズ将来構想小委員会を立ち上げ、委員長は部長、書記は次期部長、委員は各クラブの有志で組織することとし、この小委員会は定期的に会合を開き、協議内容は部役員会にて報告を行うこととする。このような組織の設置を考えている。

目下活動目標は、福知山クラブ対応。以上について竹園直前部長も快諾されたとのこと。

直前部長：2～3年だけ活動するので、常置委員会ではない。ただ、きちんと組織化したほうが良いと思う。各部の活動について西日本区にて報告されるので、京都部の報告が、他の部に影響を与えることがあるのではないかと。

次期部長：何を検討する組織なのか漠然としている。「このことについて議論しよう」というようにテーマの設定ができるのか？

直前部長：YMCAのリーダーが何を望んでいるのか把握し、ワイズ入会へ誘導したい。福知山クラブについて部長しか動いていないがこれを構想委員会マターとできる。部では手が届かないところをサポートできたら良いと考える。西日本区の第1回役員会では、将来構想委員会から特段の報告なかった。

監事：もともとは、廣井部長期に西日本区で発足。理事をサポートする小委員会が将来構想委員会である。経緯としては、西日本区でメンバーが激減し、会計面で赤字となり、その対策として急遽発足し、森田恵三さんが委員長としてスタートした。竹園部長期に形になったが、本当は九州・京都以外に必要な組織。こういう前提で発足しているため、京都へ持ってきてもなかなか形にならないと思われる。ただし、福知山クラブ対応はタイムリーだと思う。

EMC：西日本区で委員会を設置して各部で委員会を組織してほしいというプロセスを経ており、その目的は、各部で危機に対応せよとのことでスジは通っているだろう。前向きに考えたらよいのではないかと。この委員会が具体的に何をするのかは、手探りでもやむなしでは。

為国事務局：かつて、西日本区において2000推進委員会があったが今はなくなった。当初、バッチを作って販売して資金を獲得し、常置委員会とした。バッチを販売して得たお金で例会DVDを作成して、京都部のやり方を

まねよと西日本区各クラブに配布した。その後、2000推進委員として組織化して一旦は積極的に活動していた。しかし、数年たつと2000推進委員会は形骸化し、50万円ほどの資金が残っているだけの状態になった。実態は、「名前を貸していただけ」という委員もいた。前の主任も「お金が余っているだけ。どうしたらよいかわからない」とのことで、解散することとした。

当時は京都部のやり方を西日本区へ押し付けて失敗した。各部のオリジナリティを統合すればよかったが、これは本来EMC主任の仕事。2000推進委員会は不要だろうと考えた。

本来は、西日本区が活動して情報を集め、これを各部へフィードバックすればよく、将来構想委員会の設置や活動を各部のmatterにすると、形骸化する見込みが大きい。京都部では、今回は福知山クラブというテーマがあるが、一旦結論が出たら形骸化するだろう。西日本区のリーダーシップが大事では。将来構想委員会の設置や運営を各部に任せること自体、疑問を感じる。

福知山問題について、九州部の場合、部役員会で弱いクラブのサポートを考えていた。九州部は移籍制度があり、弱いクラブのテコ入れしており、部として考えて機能していた。こういうことを京都部でもできるはず。部長の責務に、元気のないクラブをサポートするということが明記されており、これこそが部の仕事である。将来構想委員会が形骸化する恐れを心配している。

直前部長：現在予定している将来構想委員会の、「ワイズ以外のゲスト=YMCAリーダー等のターゲットを広げて啓蒙すること」は、意義があると思う。ただ、現在の2テーマが解消したのち、京都部将来構想委員会がどうなるのかはわからない。もっとも、会議費の予算がつけば、議事録を作り報告をし、西日本区全体へ京都部の動きをフィードバックできるのではと思う。

EMC：予算については厳しいと思う。西日本区からの要請で、京都部で作るのではなく、区の依頼に基づき部の有志で組織すれば、予算の問題はなくなる。ただし、この場合、評議会承認は取り付ける必要があると思う。

直前部長：京都部でやる限りは部で形に残るようにした方がよい。有志は望ましくないと考えている。京都部や九州部の力を西日本区に提供できればと思う。クラブを超える関係を提供する場でもよい。

メネット：とりあえずやりたいという理解でよいか。

直前部長：よい。京都部のクラブが1つになれる機会だろう。

部長：もともとは、将来構想委員会を部内に設置すること自体に疑問を持っていた。ただ、各クラブへ訪問をして、クラブの部に対する期待を実感している。クラ

ブの自主性と、部がそれをサポートする指標が示せればと思う。こういうプロセスを経て将来構想委員会設置の必要性を感じてきた。そのため、冒頭のような発議をした。ただ、今のところ具体的な方針は出せない。

以上のとおり、主として設置に前向きな意見が出たが、事前に検討できていないこと、設置意義の詰めの作業があったほうが良いのでは等の観点から、継続審議とする。

4 YMC A 報告

台風 2 1 号によるサバエ教育キャンプ場被害の報告。キャビンについて、窓が吹き飛んだり、庇を支えていた支柱が折れたり、波板の屋根が飛んだり、庇の一部が曲がる等の被害が発生した。倒木 2 件。ワークを依頼する可能性あり。

リトセンは、施設の被害なし。八重桜が一本倒木した程度。

熊本 YMC A とのサッカー交流について、京都から熊本へ行く事業は中止になった。

5 事務局・会計・書記からの報告

会計：予算確定。

事務局：京都部会登録 4 5 6 名。未入金 6 3 名分。

ワイズデー出店の回答について、催促せねばならないと思う。

6 議事内容確認

7 次期部長コメント

将来構想委員会については整理して、部長・直前部長と協議したい。

EMC フォーラムアンケートは、今回主査から報告があったが、広く各クラブにも開示したほうが良いと思う。

8 直前部長コメント

将来構想委員会の協議について感謝。

9 監事講評

第 2 回役員会欠席について陳謝。

10 < 次回開催日 >

2018 年 10 月 5 日（金）19 時～ 京都 YMC A 三条本館

以上